

学校は、『自立』を支える場

今日から、令和6年度の教育活動がスタートしました。1年生74名、2年生87名、3年生73名、全校生徒は計234名となります。

始業式では、2、3年生に向けて、次のこととお話しました。

皆さんは、人の幸せには三つあるのを知っていますか。

一つ目は、「やってもらう幸せ」です。皆さんが赤ちゃんの時、お腹が空けば泣いたし、オムツが濡れれば泣きました。すると家族が飛んできて、あなたの世話をしてくれました。覚えていないかもしれませんが、皆さんは幸せでした。

これまでを振り返ってみてください。自分が困っていたり、悩んでいたときなど、必ず誰かが力を貸してくれたと思います。そんなとき、あなたは嬉しかったはず。これが「やってもらう幸せ」です。

二つ目は、「自分でできるようになった幸せ」です。一人で自転車に乗れるようになった。逆上がりができるようになった。野球でヒットを打てるようになった。皆さんそれぞれに、できなかったことが自分の頑張りによってできるようになったという経験があるはず。そんなとき、あなたは嬉しかったはず。これが「自分でできるようになった幸せ」です。

そして、三つ目は「人にしてあげる幸せ」です。人から、「ありがとう」と言われて、嬉しかったという経験はありませんか。人がしてほしいことをしてあげれば喜ばれます。自分のしたことで人が喜べば、自分も嬉しくなります。これが「人にしてあげる幸せ」です。

これらの三つの幸せは、どれも素敵なものですが、9年間の義務教育最後の年を迎える3年生の皆さん、そして、その3年生のバトンを引き継ぐ2年生の皆さんには、特に、「自分でできるようになった幸せ」と「人にしてあげる幸せ」をたくさん実感して欲しいと思います。

多くのチャレンジ精神と経験から、新しい自分をどんどん発見して行って、「自分でできるようになった幸せ」を大いに感じてください。それは、必ずあなたの自信へと結び付くはず。必ず。

皆さんはこれまで、「やってもらう幸せ」と「人にしてあげる幸せ」のどちらが多かったでしょうか。

たくさんの方をやってもらってきた自分に気づき、そこに感謝の心を真に抱くことができたとき、その分、あなたは心が強く、たくましくなります。なぜなら、その時とは、今まで自分を生かしてくれた人の思いが自分の大きな力になった時だからです。やがてその力は、人を支え、喜ばせる力となるでしょう。

その力を発揮していくことこそ、私は、『自立』だと考えます。

この1年間、皆さんがたくさんの方の幸せを感じられるよう、先生方も全力でサポートしていきます。

最後になりますが、明日は入学式です。新入生をどのような気持ちで迎えますか。式辞では、私から、「こんな学校を創りたい。」という思いや願いをお話しさせていただきます。もちろん、新入生だけでなく、在校生の皆さんにも伝えたいことです。一生懸命に伝えます。皆さんも一生懸命に聴いて、心でキャッチしてくれたら嬉しいです。

引き続き、学校経営の基本指針に「共に創る豊かな学び」を掲げ、今年度は、その‘根幹’として、学校づくりにおいて大切にしたいことを、この美香保中だよりのタイトルにもある『ばらばらで一緒』という言葉に込めました。このことについては、明日の入学式の式辞において、全校生徒に向けてお話しすることになります。皆様におかれましても、後日、学校だよりにてお伝えさせていただきます。

今年度は、子どもの声を聴き、「一緒に考える」ということを基本的な姿勢とし、「子ども一人一人を大切にすること」を判断の拠り所として教育活動を進めてまいります。

家庭・地域の皆様と軌を一にして、美香保子の学びや成長を支えていきたいと考えております。美香保中学校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(060408 始業式 校長挨拶より～学校だより1号巻頭言)